

ふくしま高校生スマホサミット

(発行) 福島県・福島県教育委員会・福島県警察本部
ICTツール適正使用推進事業

守ろう! スマホ宣言。



11月27日、郡山市のビッグパレットふくしまで「ふくしま高校生スマホサミット」を開催し、高校生が自ら考えて提案した「ふくしま高校生スマホ宣言」が発表されました。
この4つの宣言は、スマートフォン等の利用が急速に普及する中、子どもの生活習慣の乱れやネットいじめ、コミュニティサイトによる犯罪被害等が大きな問題となっていることから、高校生が自分のこととして捉え、県民全体で共有できる宣言づくりに取り組んだものです。
この宣言にいたるまで、県内の各高校では情報モラル講演会やクラス討論会が開催され、スマートフォン等の適正な利用についての議論を深めました。そして、各高校の代表生徒が集い、「高校生スマホワークショップ」を開催し、宣言の考案と決定に取り組みました。

福島の高校生は現実を見つめていてすごいと感じました。スマホ宣言はあれも素晴らしいかったです。考えて直接話す大切さにある通り、対面で話すことはコミュニケーション能力をつける上でもとても大事。いい写真、それは載せてもいい写真？では許可を取らばいいという意見がありました。MYスマホ親に預けてNO!スマホネットの裏側SOS!これもいいと思います。思春期は寂しさも依存しやすい傾向にあるので、それを乗り越えるためにも現実の生活を大事にしていてほしいですね。



ゲストアドバイザー
尾木直樹氏 (尾木マユ)

高校生自ら考案 /
ふくしま高校生
スマホ宣言!

- テーマ「コミュニケーショントラブル」 **考えて直接話す 大切さ**
- テーマ「著作権、肖像権の侵害」 **いい写真 それは載せてもいい写真?**
- テーマ「ネット依存の恐ろしさと抜け出す方法」 **MYスマホ 親に預けてNO!スマホ**
- テーマ「出会いトラブルの被害者とならないために」 **SNS 出会いの裏側 SOS**

ふくしま高校生スマホ宣言までの流れ



11月7日

スマホワークショップ

各高校の代表生徒が集結し、小議題に分かれて、話し合いを行いました。各グループからは、それぞれが協議した宣言が発表され、お互いの投票により、「ふくしま高校生スマホ宣言」が決定しました。



4月~10月

情報モラル講演会

ICTの専門家や県警察本部等から講師が派遣され、今、話題となっているインターネットやスマートフォンの利用の問題について考えました。主な講師は、目代純平氏(チェックフィールド代表取締役)、山口猛氏(郡山女子大学短期大学部)、安川雅史氏(全国Webカウンセリング協会理事)、諏江正義氏(エヌエスシー人事部長、KDDI)です。



4月~10月

クラス討論会

各高校の代表クラスが、班ごとにスマホの長所、短所をピックアップし、お互いに考えを深めました。普段の使い方を見直しながら、学校のルールについて話し合いを行いました。



スマートフォン等の情報通信メディアは、あらゆる情報や便利で楽しい生活を私たちに提供している反面、児童生徒がネット上でいじめや出会いトラブルなどに巻き込まれるといった問題ももたらしています。ふくしま高校生スマホ宣言は、スマートフォンをはじめとするICTツールの適正な使用について、自分のこととして考え行動していくために、高校生自身も考えたいと思います。この宣言をきっかけに、本県の未来を担う若者たちが、ICTツールの適正な利用とともに、他者との直接的なコミュニケーションの大切さなどについて認識を深め、豊かな人生を送ることを願っております。

対話を大切にして 人生を豊かに



各高校の生徒や先生を始め、関係の皆さんのご協力により、すばらしい「スマホ宣言」となりました。これまで生徒の皆さんが真剣に議論されてきたように、ICTツールは非常に便利である反面、使い方を誤るとは生活習慣の乱れや家庭内での影響、コミュニケーションサイトのトラブル、コミュニケーションサイトを利用した悪質な犯罪被害など、様々な問題の原因にもなります。この宣言が、県内の高校生はもとより、中学生や小学生、さらには全国の若者や子どもたちに伝わり、ICTツールとの上手な付き合い方、ルールや自分の身を守るなどの大切さ、時間の有効な使い方を改め、考え行動に移すきっかけとなるよう期待しています。

宣言を行動に移すきっかけに

福島県知事 内閣府特命担当大臣